

四国災害アーカイブス 活用の手引き ～地震・津波版～



目 次

- I 四国災害アーカイブスとは？
- II どうすれば情報が得られるの？
- III どんな内容が提供されるの？
- IV どんな使い方ができるの？

I 四国災害アーカイブスとは？

四国災害アーカイブスが目指すこと

四国は自然災害が発生しやすい特性を有しており、四国に住む人々は過去の災害から様々なことを学んできました。災害による被害を減らすためには、社会資本整備を進める一方で、過去の災害から学んだことを活かして、人々が被害を軽減するためのソフト面の取り組みを進めることが重要です。

しかし、こんにち、地域の人と人のつながりが薄れ、過去の災害の教訓などを伝えるににくい状況が生まれてきています。また、過去の災害に関する資料が保存・継承されていない、あるいは貴重な資料が十分に活用されていない状況も見受けられます。

このため、過去に四国各地で発生した主要な災害に関する情報を収集・整理し、地域防災力の向上に向けて、できるだけ多くの人々に活用してもらえるように情報提供することを目指して、「四国災害アーカイブス」を作成しています。



▲四国各地には災害に関するさまざまな情報が蓄積されています。

■ 情報提供の方法

収集した四国の災害情報を整理し、インターネットを通じて提供します。

東日本大震災を踏まえて、皆さんの関心が高い地震・津波の情報を先行して提供し、平成24年7月20日より部分運用します。

■ 情報提供の対象

- 住民
- 自主防災組織等の地域の防災リーダー
- 行政の防災担当者
- 研究者等

※多くの皆さんに利用していただきたいと考えていますが、情報提供にあたっては中学生以上が理解できる程度の表現とします。

■ 災害情報の収集内容

四国にある国の機関、県、市町村、大学等から、下記の災害情報を収集しています。ただし、部分的運用中は地震・津波の情報だけを提供します。

災害の種類	①地震・津波 ②風水害 ③土砂災害 ④高潮 ⑤渇水 ⑥雪害 ⑦火山災害 ⑧大規模な火災 ⑨その他
情報の内容	災害の状況、被害の様子、地域の人々の対応、被害軽減の取り組み等
収集の範囲	四国で被害が出た災害で、時代が特定できるもの
収集対象物	上記の情報を記載している印刷物または電子データ、および現地調査情報 ・市町村史、郷土史 ・災害記録、災害体験集 ・学術論文、雑誌論文 ・事業誌 ・写真集等 ・その他文献等

■ 現地調査

文献資料等の収集だけではなく、災害現場、災害に関する石碑、痕跡等を訪れ、関連情報の収集および写真撮影を行っています。

撮影した写真は、災害情報とともに掲載します。

■ 検討委員会

四国災害アーカイブスは、下記の検討委員会の指導のもと、進めています。

四国災害アーカイブス事業検討委員会 委員名簿 (平成24年6月現在)

徳島大学 名誉教授	村上 仁士
徳島大学 環境防災研究センター 教授	中野 晋
香川大学 危機管理研究センター 教授	長谷川 修一
愛媛大学 防災情報研究センター長 理事	矢田部 龍一
愛媛大学 防災情報研究センター 教授	木下 誠也
愛媛大学 防災情報研究センター 教授	板屋 英治
高知大学 南海地震防災支援センター 教授	大年 邦雄
高知大学 南海地震防災支援センター 教授	笹原 克夫
高知工科大学 システム工学群 教授	高木 方隆
国土交通省 四国地方整備局 企画部長	石橋 良啓
徳島県 県土整備部長	海野 修司
香川県 土木部長	細谷 芳照
愛媛県 土木部長	井上 眞三
高知県 土木部長	石井 一生
(財)日本建設情報総合センター 四国地方センター長	松尾 裕治
(社)四国建設弘済会 理事長	福田 昌史

※順不同、敬称略

■ 運用のスケジュール

四国災害アーカイブスの運用開始は2段階で行う予定です。

● 平成24年7月20日:部分的運用

東日本大震災を踏まえて、皆さんの関心が高い地震・津波の情報を先行して提供します。

● 平成26年4月:本格的運用

すべての災害種類の、開示可能なすべての情報を提供します。

Ⅱ どうすれば情報が得られるの？

■ アーカイブスの情報を入手する方法

操作は簡単です。以下の手順でアーカイブスの情報を入手することができます。

① インターネットで「四国災害アーカイブス」にアクセスしてください。

四国災害アーカイブス (<http://www.shikoku-saigai.com>) のサイトは、平成24年7月20日から運用を開始します。

② アーカイブスの画面が表示されたら、右側の検索ボタンで知りたい内容を検索してください。

例えば、香川県高松市の江戸時代の地震・津波の情報を知りたい場合には、県名で「香川県」を、市町村名で「高松市」を、災害種類で「地震・津波」を、そして年代で「江戸時代」を選択します。キーワードで検索することもできます。複数の検索項目を選択すると、絞り込みが行われます。なお、現在は地震・津波の情報だけを提供しています。

③ 画面中央に検索結果が表示されますので、関心のある情報のタイトルをクリックしてください。

タイトルをクリックすると、詳細な災害情報を見ることができます。具体的な情報の内容は次頁のとおりです。

四国災害アーカイブスの画面

検索すると、検索結果が表示されます。

タイトルをクリックすると、詳細な情報を見ることができます。

検索フォーム

- 県名検索
 - 徳島県
 - 香川県
 - 愛媛県
 - 高知県
- 市町村名検索(香川県の例)
 - 高松市
 - 丸亀市
 - 坂出市
 - ...
- 災害種類検索
 - 地震・津波
 - 風水害
 - 土砂災害
 - 高潮
 - 渇水
 - 雪害
 - 火山災害
 - 大規模な火災
 - その他

※現在は地震・津波の情報だけを提供しています
- 年代検索
 - 江戸時代以前
 - 江戸時代
 - 明治・大正時代
 - 昭和30年代まで
 - 昭和60年代まで
 - 平成以降

メニューには、以下の内容が掲載されています。

- 四国災害アーカイブスについて
- 利用上の留意点
- 情報提供のお願い
- 検討委員会と運営機関について

四国にある公益性を有する組織の災害関連サイト等にリンクを張っています。

Ⅲ どんな内容が提供されるの？

■ 提供される詳細な災害情報の内容

徳島県海陽町(海南町)の「昭和21年の南海地震」の情報を例として、提供される情報の内容を紹介します。

徳島県海陽町(海南町)の「昭和21年の南海地震」の情報

災害年月日

原則として原資料に基づいて西暦年月日で表記しています。災害が数日間にわたって発生している場合には、災害発生初日を記載しています。

市町村

情報が旧市町村に関する場合には、現在の市町村名に加えてカッコ書きで平成の大合併直前の市町村名を記載しています。

災害種類

以下の9項目のいずれかを表示しています。
1)地震・津波 2)風水害 3)土砂災害 4)高潮
5)濁水 6)雪害 7)火山災害 8)火災
9)その他

※現在は地震・津波の情報だけを提供しています。

概要

当該地域の災害の様子、被害の状況、人々の対応など災害情報の概要を200字程度以内で記載しています。

地図情報

災害地域の地図情報を、電子国土地図とGoogleマップで表示しています。

備考

災害にまつわる石碑、痕跡、史跡等がある場合には、石碑等をアイコンで示した地図を表示しています。また、関連する写真がある場合には写真を掲載しています。

参考文献

この災害情報について、編著者名「書名」(発行元、発行年)、関連ページ数を記載しています。

情報源の種類

原資料の種類を、以下の6項目のいずれかで表示しています。

1)市町村史、郷土史 2)災害記録、災害体験集
3)学術論文、雑誌論文 4)写真集 5)事業誌
6)その他文献等

キーワード

キーワードを5つ以内で付けています。

原資料PDF

著作権者の許諾が得られる場合には、原資料PDFを掲載します。ただし、原資料PDFの公開は平成26年4月の予定です。

昭和21年の南海地震

災害年月日 1946年12月21日

市町村 徳島県海陽町(海南町)

災害種類 地震・津波

概要 昭和21年(1946)12月21日午前4時19分地震が発生し、その十数分後に津波の第一波が押し寄せ、さらに十数分間隔で第二波、第三波が襲来した。典型的なV字溝である浅川湾では壊滅的な被害を受け、「徳島県災害誌」によると、浅川の被害は死者65人、負傷者60人、家屋の流失165戸、全壊161戸、半壊169戸、床上浸水85戸、船舶流失60隻、田畑流失62町歩などであった。なお、精興町と川東村ではほとんど被害が出ていない。

電子国土地図



Googleマップ



備考

観音堂石段には、安政津波石碑とともに昭和南海津波石碑が建立されている。また、津波最高潮位碑が伊勢田忠魂碑下、天神社前、大歳神社前に建立されている。

参考文献

海南町史編さん委員会編「海南町史 上巻」(海南町、1995年)、877-896頁

情報源の種類

市町村史、郷土史

キーワード

昭和南海地震 津波 浅川 死者 徳島県災害誌

NO

徳島147

※アーカイブスの情報を利用する際には、前頁に示したメニュー欄の「利用上の留意点」をご覧になり、留意点をご確認ください。

Ⅳ どんな使い方ができるの？

アーカイブスの使い方

四国災害アーカイブスの情報はいろいろな目的に使うことができます。利用者別の使い方として、以下のような例があげられます。

① 住民や生徒の皆さん

住民や生徒の皆さんが、自分の住んでいるまちについて、例えば明治元年から平成23年までに起こった災害の歴史を調べたいときに活用することができます。

② 地域の防災リーダー、市町村防災担当者

自主防災組織や市町村の防災担当者が、過去の災害時における人々の取り組みの中から、災害対応の仕方や被害軽減策、教訓を見出すときに活用することができます。

③ 学校の先生

学校の先生が児童・生徒を対象として行う防災教育のツールとするため、地域の災害履歴を調べて、災害年表や災害マップなどをつくる時に活用することができます。

④ 研究者や大学生

研究者や大学生が、津波の歴史と海岸堤防工事の実施など災害と社会資本整備との関連を調べたり、地域の災害研究に活用することができます。

⑤ 報道・各種業務への活用

報道関係者が特定の災害に関する四国全体の被害分布状況を調べたり、類似被害を調べたりするときに活用することができます。

アーカイブス活用事例① 四国全体の地震・津波被害の年表をつくる

アーカイブスを利用して得られる情報をもとに、四国全体の地震・津波による被害の年表をつくるすることができます。アーカイブスの検索結果から市町村ごとの地震・津波被害の概要を整理し、その一部を示すと以下のとおりです（平成の大合併前の旧市町村単位で示しています）。

なお、アーカイブスには年表を作成する機能はありませんので、年表の作成には表作成ソフト等を使う必要があります。

四国全体の地震・津波被害の年表（一部）

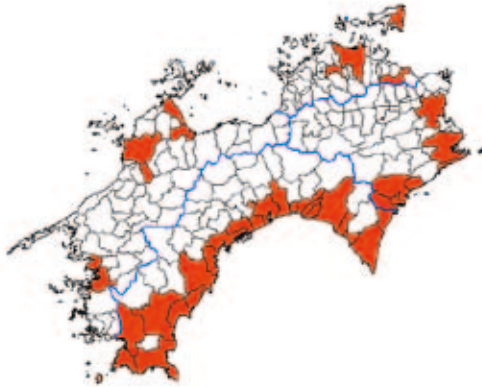
	和暦	西暦	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
江戸時代	寛延2年4月10日	17490525			・東予市（壬生川で地盤沈下） ・吉田町（家屋等の損壊、負傷者） ・宇和島市（城楼破損）	
	寛政元年4月17日	17890511	・海部町（家・蔵・土手の損壊） ・牟岐町（田地崩れ、石垣崩れ） ・阿南市（川の破堤、山崩れ、水涸れ等） ・上勝町（山崩れ等） ・徳島市（寺町の墓石倒壊）	・津田町（堤防決壊）		
	嘉永7年11月4日 （安政東海地震）	18541223	・牟岐町（津波高1丈程度） ・驚敷町（太龍寺の大岩石の落石等） ・徳島市（建家の損壊）			・高知市（家屋倒壊、人畜死傷、津波高2丈により市中は大海原） ・須崎市（津波により宇佐、福島で家屋流失11軒） ・佐賀町（山崩れ）
	嘉永7年11月5日 （安政南海地震）	18541224	・穴喰町（津波により死者8人、流家141軒、潰家15軒等） ・海部町（津波高1丈2尺程） ・海南町（津波高2丈、所により3丈、死者2人等） ・牟岐町（津波高3丈余、全滅の集落もあり） ・日和佐町（津波により漁船3、4隻、回船2隻流出） ・由岐町（津波高3丈余、死者は東由岐浦で24、5人、西由岐浦で16人） ・阿南市（津波により橋、福井等で死者、津波は福井で座上2尺余、地盤沈下3尺程など） ・那賀川町（中島港が大破、辰巳新田で地割れ、黒津地の南新田が一面海と化した） ・羽ノ浦町（各地で津波と火事） ・驚敷町（住宅壁の落下、落石） ・相生町（山腹崩壊） ・上那賀町（鎌だき山崩壊） ・木頭村（村内各地で水筋くるう） ・上勝町（刈揃山に亀裂、落石） ・小松島市（火災により小松島浦の7割方が焼失、田野・旗山等は津波被害） ・徳島市（地が裂け、土砂吹き出し、潰家、城下で出火） ・鳴門市（津波が撫養に襲来し人家塩田が浸水、岡崎では潰家・焼失が多かった） ・松茂町（潰家、地盤沈下等） ・藍住町（八幡神社の鳥居倒壊）	・綾南町（北村で家屋倒壊473棟） ・白鳥町（池の堤防破損） ・長尾町（八幡池の堤防決壊） ・高松市（新開地などで亀裂、家屋破損、土壁崩壊） ・坂出市（民家倒壊、海岸の埋立・新開地で被害） ・高瀬町（屋根や壁に損傷）	・新宮村（家屋の倒壊、各所に亀裂） ・伊予三島市（家屋の倒壊） ・別子山村（別子銅山の坑内各所で亀裂が生じ、湧水により坑内水没） ・東予市（大新田などで海岸堤防決壊、家屋倒壊） ・小松町（恵比須宮の鳥居倒壊等） ・今治市（城郭所々破損、海岸突堤崩壊） ・菊間町（住宅・土蔵の崩壊、地割れ、泥水噴出） ・松山市（松山城損壊、家屋200余軒破損、2,600軒倒壊、道後温泉止まる、死者2人） ・伊予市（家屋倒壊、死者多数） ・松前町（家屋・障壁の倒壊） ・双海町（山崩壊、地割れ、泥水噴出、人畜被害等） ・大洲市（城の東門台・御櫓が大破、家屋倒壊） ・肱川町（落石等） ・保内町（津波により船打ち上げ、地割れ、家屋倒壊） ・伊方町（津波高4m、川永田、中浦等で浸水＜口伝＞） ・八幡浜市（津波により浜之町まで浸水） ・三瓶町（津波高3.5m、田畑・家屋への浸水） ・浜浜町（家屋倒壊、死傷者あり、津波により被害大） ・吉田町（地割れ、泥水噴出、津波遡上、家屋の倒壊80余戸、死者6人等）	・東洋町（津波2丈、甲浦の家屋40、50軒流失、船に乗った18人死亡） ・室戸市（室津港で隆起約4尺、津呂では落石等） ・奈半利町（人家崩壊、津波による浸水） ・夜須町（津波により手結浦153軒流失、死者7人等） ・香我美町（津波により岸本山近辺11軒流失等） ・赤岡町（津波により20軒余流失、死者4人等） ・吉川町（津波により10軒流失） ・野市町（津波が物部川を遡上） ・高知市（家屋倒壊、火災発生、津波による浸水等で流家1,676戸、潰家568戸、死者106人） ・仁淀村（山崩れ、家屋倒壊） ・佐川町（家屋倒壊、堤防・道路の決壊等） ・土佐市（津波により宇佐、福島は一面海、流死人70余人） ・須崎市（津波により家屋流失、須崎浦で死者30余人） ・中土佐町（津波により上ノ加江で家残らず、久礼郷浦で死者5人） ・窪川町（津波により興津浦で家屋流失、村外の7人流死） ・佐賀町（伊与木川の水無くなる、津波による被害大＜口伝＞） ・土佐清水市（津波高2丈余、津波が川を遡上、死者多数等） ・大月町（津波により柏島、古満目で家

アーカイブス活用事例② 四国全体の地震・津波被害の分布図をつくる

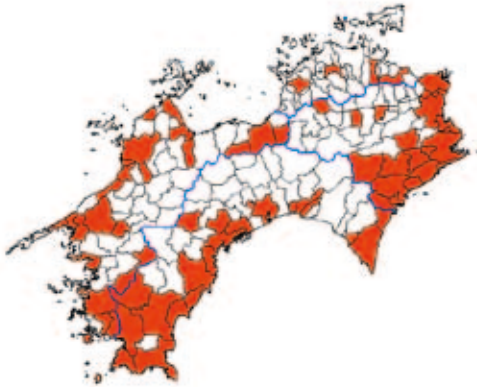
アーカイブスを利用して得られる情報をもとに、宝永地震、安政南海地震、昭和南海地震の時に、地震・津波の被害が確認できた市町村を地図で示したのが下の図です（平成の大合併前の旧市町村単位に赤で表示しています）。被害が確認できなかった市町村でも、実際には被害が起こっている場合があります。ご了承ください。

なお、アーカイブスには地図を作成する機能はありませんので、地図の作成には地図作成ソフトを利用する必要があります。

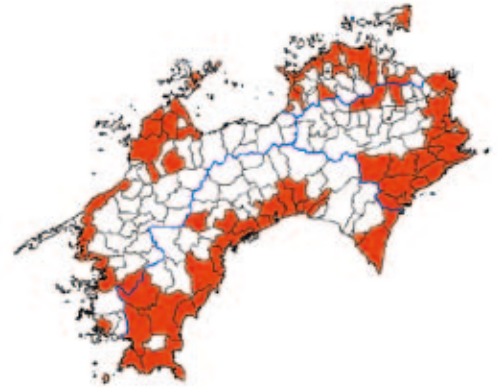
宝永地震1707年



安政南海地震1854年



昭和南海地震1946年



アーカイブス活用事例③ 私のまちの地震・津波被害の年表をつくる

自分が住んでいるまちの災害の歴史を調べるときにも、アーカイブスは役立ちます。アーカイブスを利用して得られる情報をもとに、愛媛県松山市の地震被害等の年表をつくと以下のとおりです。

なお、アーカイブスには年表を作成する機能はありませんので、年表の作成には表作成ソフト等を使う必要があります。

愛媛県松山市の地震被害等の年表

	和暦	西暦	松山市の地震被害等の概要(カッコ内は資料名)
飛鳥時代	推古13年	6050000	推古13年(605)、地震により、道後温泉没す。〔「松山市史 第1巻」〕
	推古36年	6280000	推古36年(628)、地震により、道後温泉ふさがり、3年後に再び出る。〔「松山市史 第1巻」〕
	天武13年10月14日 (白鳳地震)	6841129	天武13年(684)10月14日、地震(M8.25)により、伊予の温泉湧出止まる。〔「松山市史 第1巻」〕
室町時代	明応7年6月11日	14980709	明応7年(1498)6月11日、伊予で地震(M7～7.5)。〔「松山市史 第1巻」〕
安土桃山時代	慶長元年7月12日	15960904	慶長元年(1596)7月12日、地震(M7.0)により、伊予薬師堂(松山市余土)の本堂・壬生門倒れる。〔「松山市史 第1巻」〕
江戸時代	慶長19年10月25日	16141126	慶長19年(1614)10月25日、地震(M7.7)により、山崩れて泉脈塞がる。道後温泉一時湧水止まる。〔「松山市史 第1巻」〕
	寛永2年2月5日	16250313	寛永2年(1625)2月5日、地震により、城の石垣20間、堀30間余崩れる。〔「松山叢談」〕
	寛永2年3月18日	16250424	寛永2年(1625)3月18日、地震により、温泉塞がる。松山城主蒲生忠知命じて湯神社に祈禱する。〔「松山市史 第1巻」〕
	寛永4年	16270000	寛永4年(1627)、地震により、道後温泉湧出止まる。〔「松山市史 第1巻」〕
	寛永7年11月5日	16301208	寛永7年(1630)11月5日、地震により、泉脈閉塞。〔「松山市史 第1巻」〕
	慶安元年2月5日	16480328	慶安元年(1648)2月5日、松山大地震。〔「垂憲録拾遺」〕
	慶安2年2月5日	16490317	慶安2年(1649)2月5日、松山大地震、松山城石垣20間、堀30間破損する。〔「垂憲録拾遺」〕
	貞享2年12月4日	16851229	貞享2年(1685)12月4日、地震(M5.9)により、道後湯没す。御城郭のうち数箇所崩れる。〔「松山市史 第1巻」〕
	貞享2年12月10日	16860104	貞享2年(1685)12月10日、地震(M7～7.4)により、時々道後温泉黄濁す。泥湯湧出後濁湯となる。〔「松山市史 第1巻」〕
	宝永4年10月4日 (宝永地震)	17071028	宝永4年(1707)10月4日、地震(M8.4)により、道後温泉湧出停止(145日間)。松山藩主久松定直公、道後湯神社に祈禱仰付く。〔「松山市史 第1巻」〕
	文化9年3月10日	18120421	文化9年(1812)3月10日、地震発生(M6.9)。松山でも被害が多かったようであるが、詳細不明。〔「松山市史 第1巻」〕
	嘉永7年11月5日 (安政南海地震)	18541224	嘉永7年(1854)11月5日、地震により、松山城天守閣の石垣が2箇所ふくろみ、本丸では平野屋根の瓦が落ち、壁にも被害が出た。家中屋敷では全半潰20軒、土蔵の全半潰17箇所、下級藩士の家では全半潰114軒、町方の家屋では全半潰68軒、百姓家の全半潰1,273軒などの被害が出た。道後温泉の湧出も止まる。即死者2人。〔「池内家記」〕
	安政4年8月25日	18571012	安政4年(1857)8月25日、地震(M7.25)により、松山で門、堀、古家倒れる。知行100石につき15俵の割合で出米を集め、御下米とした。〔「松山市史 第1巻」〕
明治時代	明治38年6月2日	19030602	明治38年(1905)6月2日、芸予地震(M7.25)により、松山市、温泉・越智・伊予各郡で負傷17人、家屋全壊8戸、半壊58戸、被損235戸などの被害が出た。〔「松山市史 第1巻」〕
	明治42年11月10日	19091110	明治42年(1909)11月10日、地震(M7.6)により、松山市三津浜で負傷2人、家屋倒壊1戸。〔「松山市史 第1巻」〕
昭和時代	昭和12年12月8日	19371208	昭和12年(1937)12月8日、松山市武徳殿・民家の障子破損、三津浜佐詰会社の煙突倒壊。〔「松山市史 第1巻」〕
	昭和21年12月21日 (昭和南海地震)	19461221	昭和21年(1946)12月21日、南海地震(M8.0)が発生し、道後温泉の湧出停止70日間。この地震により、死者26名、負傷32名、住家全壊155戸、半壊118戸、非住家全壊147戸、浸水320戸、道路56箇所、橋梁8箇所、堤防67箇所などの被害が出た。〔「松山市史第1巻」〕
	昭和43年4月1日 (日向灘地震)	19680401	昭和43年(1968)4月1日、日向地震(M7.5)により、松山市で負傷2名、停電約42,000戸。体感余震は11回に及んだ。〔「松山市史第1巻」〕
	昭和43年8月6日 (宇和島地震)	19680806	昭和43年(1968)8月6日、地震(M6.6)により、停電約12万戸、負傷15名、道路損壊13箇所、山崩れ・がけ崩れ33箇所、鉄道通信施設にも被害。〔「松山市史 第1巻」〕

アーカイブス活用事例④ 私のまちの地震・津波に関する石碑等マップをつくる

アーカイブスには資料に基づく文章だけではなく、災害にまつわる石碑等の位置情報や写真もできるだけ掲載するようにしています。これらの情報をもとに、自分が住んでいるまちの災害関連の石碑等マップをつくることもできます。高知県土佐清水市の例に、地震・津波に関する石碑等マップをつくと以下のとおりです。

なお、アーカイブスにはワンタッチでマップを作成する機能はありませんので、マップ作成ソフト等を使う必要があります。

地震・津波に関する石碑等マップ(高知県土佐清水市の例)

三崎浦の十字橋碑
三崎浦の旧三崎川十字橋付近には安政南海地震(1854年)の碑が建てられています。碑には11月5日に大地震が起こるや否や大津波が襲来したので、火を消し、家を出ることが第一と記されています。



下川口春日神社の碑
下川口浦の春日神社の鳥居付近には、宝永地震(1707年)に関する碑があります。側面に「宝永四年十月四日」の文字だけ刻まれています。



中浜峠の池家墓碑
中浜峠の南側の墓地にある池家墓碑には、安政南海地震(1854年)のことが彫られています。11月5日の大地震が静まるや否や大潮が襲来し、家や死者が夥しかったことが記されています。



中浜港の地震碑
中浜港の恵比須神社への参道石段の上に、安政南海地震(1854年)に関する碑が建てられています。大地震が静まる、高さ2丈(6m)の大潮が襲来したことが記されています。



五味天満宮の安政地震碑
下ノ加江の五味天満宮境内には、安政地震(1854年)の碑があります。碑には10月より潮が狂い、11月4日すず波が来て、5日大地震後間もなく大潮が襲来したことが記されています。



蓮光寺の石段
市役所近くの蓮光寺には83段の石段があり、宝永地震(1707年)のときには津波が石段の上から3段目まで達したとの記録が残されています。



唐船島
唐船島は、昭和南海地震(1946年)により地盤が約80cm隆起しました。貴重な地質学の資料として国指定の天然記念物になっています。





アーカイブス活用事例⑤ 四国の地震・津波カレンダーをつくる

アーカイブスを利用して得られる情報をもとに、四国で被害があったことを確認できた地震・津波のカレンダーをつくるができます(下表では平成の大合併前の旧市町村名を用いています)。災害の年間暦があれば、今日は何の日かを知ることができます。

なお、カレンダーをつくるためには、表作成ソフト等を使う必要があります。

四国の地震・津波カレンダー(今日は何の日)

月	日	地震・津波の名称	概要
1月	17日	阪神・淡路大震災	1995年1月17日(平成7年1月17日)、地震。徳島県各地、香川県高松市・三木町に被害の記録あり。
	18日	天正13年の地震	1586年1月18日(天正13年11月29日)、地震。徳島県、愛媛県東予市に被害の記録あり。
2月	3日	慶長9年の地震	1605年2月3日(慶長9年12月16日)、地震。徳島県安喰町・海部町、高知県室戸市・佐賀町に津波被害の記録あり。
3月	13日	寛永2年の地震	1625年3月13日(寛永2年2月5日)、地震。愛媛県松山市に被害の記録あり。
	17日	慶安2年の地震	1649年3月17日(慶安2年2月5日)、地震。愛媛県松山市・宇和島市・保内町に被害の記録あり。
	24日	平成13年の予予地震	2001年3月24日(平成13年3月24日)、地震。愛媛県東予市・波方町・小田町・双海町に被害の記録あり。
4月	1日	昭和43年の日向灘地震	1968年4月1日(昭和43年4月1日)、地震。愛媛県西条市・松山市・明浜町、高知県中村市に被害の記録あり。
	24日	寛永2年の地震	1625年4月24日(寛永2年3月18日)、地震。愛媛県松山市に被害の記録あり。
5月	11日	寛政元年の地震	1789年5月11日(寛政元年4月17日)、地震。徳島県各地、香川県津田町に被害の記録あり。
	23日	昭和35年のチリ地震津波	1960年5月23日(昭和35年5月23日)、津波。徳島県各地、愛媛県御庄町、高知県須崎市に被害の記録あり。
	25日	寛延2年の地震	1749年5月25日(寛延2年4月10日)、地震。愛媛県東予市・宇和島市・吉田町に被害の記録あり。
6月	2日	明治36年の地震	1903年6月2日(明治36年6月2日)、地震。愛媛県松山市に被害の記録あり。
	30日	明治7年の地震	1498年6月30日(明治7年6月11日)、地震。愛媛県松山市・新居浜市に被害の記録あり。
7月	26日	康安元年／正平16年の地震	1361年7月26日(康安元年／正平16年6月24日)、地震。徳島県由岐町、高知県南国市に津波被害の記録あり。
	27日	昭和30年の剣山地震	1955年7月27日(昭和30年7月27日)、地震。徳島県上那賀町に被害の記録あり。
8月	6日	大正5年の地震	1916年8月6日(大正5年8月6日)、地震。愛媛県土居町に被害の記録あり。
		昭和43年の宇和島地震	1968年8月6日(昭和43年8月6日)、地震。愛媛県松山市・双海町・一本町町に被害の記録あり。
9月	1日	文禄5年の地震	1596年9月1日(文禄5年閏7月9日)、地震。愛媛県東予市に被害の記録あり。
	4日	慶長元年の地震	1596年9月4日(慶長元年7月12日)、地震。愛媛県松山市に被害の記録あり。
	13日	永正9年の津波	1512年9月13日(永正9年8月4日)、津波。徳島県安喰町に津波被害の記録あり。(地震記録なし)
	20日	文禄3年の地震	1594年9月20日(文禄3年8月6日)、地震。徳島県のお亀磯陥没の伝説あり。
10月	12日	安政4年の地震	1857年10月12日(安政4年8月25日)、地震。愛媛県各地に被害の記録あり。
	28日	宝永地震	1707年10月28日(宝永4年10月4日)、地震。四国四県の各地に地震・津波の被害あり。
11月	10日	明治42年の地震	1909年11月10日(明治42年11月10日)、地震。愛媛県松山市に被害の記録あり。
	26日	白鳳地震	684年11月26日(天武13年10月14日)、地震。高知県各地、愛媛県松山市・朝倉村に被害の記録あり。
		慶長19年の地震	1614年11月26日(慶長19年10月25日)、地震。愛媛県松山市・東予市に被害の記録あり。
12月	8日	寛永7年の地震	1630年12月8日(寛永7年11月5日)、地震。愛媛県松山市に被害の記録あり。
		昭和12年の地震	1937年12月8日(昭和12年12月8日)、地震。愛媛県松山市に被害の記録あり。
	10日	寛文元年の地震	1661年12月10日(寛文元年10月19日)、地震。高知県高知市に被害の記録あり。
	21日	昭和南海地震	1946年12月21日(昭和21年12月21日)、地震。四国四県各地に地震・津波被害の記録あり。
	23日	安政東海地震	1854年12月23日(嘉永7年11月4日)、地震。徳島県各地、高知県各地に地震・津波被害の記録あり。
	24日	安政南海地震	1854年12月24日(嘉永7年11月5日)、地震。四国四県各地に地震・津波被害の記録あり。
	29日	貞享2年の地震	1685年12月29日(貞享2年12月4日)、地震。愛媛県松山市に被害の記録あり。

過去の災害に関する情報をお寄せください。

四国災害アーカイブスが多くの皆さんに利用されるためには、アーカイブ스에登録する情報内容を充実させることも重要です。皆さんの身近に四国の過去の災害に関する文献資料や映像などがありましたら、アーカイブス事務局までご連絡をお願いします。



メールマガジン配信中

四国災害アーカイブスのメールマガジンの受信を希望される方は下記にメールをお送りください。

E-mail: info@shikoku-saigai.com

アーカイブスへの思い

四国災害アーカイブス事務局では、皆様にアーカイブスを活用していただくことにより、以下の3つのことをお伝えできればと考えています。

①身近な所に災害の歴史があること

平成23年に東日本大震災が発生し、地震・津波への関心が高まっていますが、四国では過去に地震・津波だけではなく、風水害、土砂災害、高潮、渇水などさまざまな災害がたびたび起こってきました。皆さんの身近な所にも災害の歴史があることを知っていただきたいと思います。

②災害に立ち向かってきた歴史があること

災害に対して、人々はただ手をこまねいていただけではありません。できるだけ災害が起こらないように、また、できるだけ被害が大きくなるように、その時々に応じた取り組みが行われてきました。先人の努力や工夫の積み重ねの上に、今日の四国があることを知っていただきたいと思います。

③災害にまつわる石碑や痕跡などが各地にあること

災害の様子や災害に対する人々の取り組みなどは、文献資料だけではなく、各地の石碑や痕跡などにも残されています。皆さんが災害にまつわる石碑や痕跡を訪ね、改めて災害や地域のことを考えるきっかけにいただけるように、できるだけ現場の地図や写真を提供していきたいと思っています。

四国災害アーカイブス事務局
(社団法人 四国建設弘済会)

〒760-0066 香川県高松市福岡町3-11-22
電話 087-822-1676 FAX 087-823-8569
<http://www.shikoku-saigai.com/>